

嚥下内視鏡検査について

リハビリテーション科



当院では、飲み込みに不安をお抱えの外来患者様や入院患者様に対し、嚥下内視鏡を使った検査をスタートいたしました。

嚥下内視鏡検査とは次のようなものです。

鼻から直径3ミリメートルほどの内視鏡（カメラ）を挿入し、

- ① 飲み込んだ食べ物の流れや咽頭内の動き・環境を観察できます。
- ② 口から食べる機能が、姿勢や食事形態の調整などによってどのように変化するかを検討することが出来ます。

このことにより患者さんの嚥下機能を正しく評価し、適切な食事形態や摂取方法（ベッド角度や姿勢など）の指導を行うことによって安全な嚥下訓練が可能となります。

適応としては、①胃瘻造設を検討する場合 ②経口摂取をスタートする際 ③食事形態を上げて安全か否かを判断するときなど使う場面は多岐に渡ります。（例えば「最近、何だか食事の時にムセ込む事が多くなったわ…」等。）

※検査の所要時間は15分から30分です。

外来診察室だけでなく、持ち運びもできるため、病室のベッド上でも検査ができます。使用する食品は、普段食べているものを使うことができます。



ゼリーを用いて嚥下内視鏡検査を実施しているところ



内視鏡の挿入位置